

今月のテーマ



薬の保管について



病院や薬局でもらった薬をどのように保管していますか？使い方や飲み方だけでなく、正しく保管することも大切です。保管方法を間違うと、薬が変質・変性してしまうこともあります。

① 湿気、日光、高温を避ける



薬の変質・変性を防ぐ 三大原則



温 度

涼しいところに
保管

湿 度

湿気の少ない
ところに保管

光

直射日光を
避けて保管



- ◆ 特別な指示がない限り、薬は「室温」で保管します。室温とは日本薬局方で1°C~30°Cと定められています。車の中や窓に近いところには置かないようにして下さい。
- ◆ 「冷所保存」の指示がある場合は、1°C~15°C(冷蔵庫)で保管して下さい。この際凍結しないように注意してください。
- ◆ 「遮光袋」が添付されている薬剤(一部点眼剤や錠剤など)は、遮光袋に入れて保管して下さい。

● ● 薬の剤形に応じた保管方法で ● ●

注射剤

インスリンなどの注射剤は未開封の場合は「冷所保存」ですが、開封後は直射日光をさけて、室温で保管してください。開封後も冷所保存をすると結露が生じ、上手く使用できなくなる場合があります。

点眼薬

一部点眼薬は「冷所保存」でも開封後は「室温」保存が可能なものもあります。ただし開封後は雑菌などの繁殖の恐れがあるため、1ヶ月を目安に使用してください。



坐薬

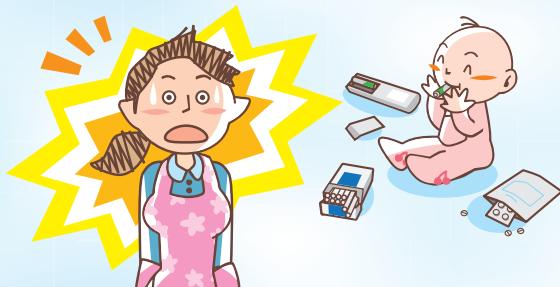
「冷所保存」の坐薬は、一度溶けると変形したり、有効成分が偏る場合があります。変形した坐薬は使わないようにしましょう。



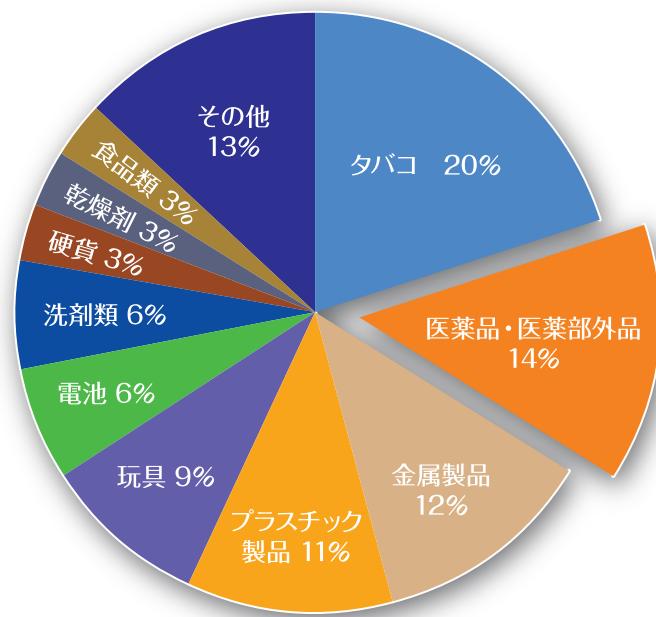
② 子どもの手の届かないところに保管する

子どもの誤飲事故のうち「医薬品・医薬部外品」による事故が第2位に報告されています。誤飲を防ぐために、子どもの手の届く場所や、目のつく場所に薬を保管しないようにしましょう。

錠剤をラムネ菓子と間違って口に入ってしまったケースなども報告されています。



家庭用品などによる子どもの誤飲事故の割合



厚生労働省「家庭用品等に係る健康被害病院モニター報告」
(平成26年度)より抜粋

③ 薬以外の物と区別する

間違って飲んだり使ってしまうことを避けるために、食品・消毒剤などと一緒に保管するのはやめましょう。

④ 他の容器に入れ替えない

薬の種類や使い方がわからなくなり間違って使用したり、衛生面が低下したりするので他の容器に入れ替えての保管はやめましょう。

⑤ 古い薬は破棄する

時間が経過した薬は、薬の変質・変性により本来の効果が得られなくなっている場合があり、また副作用が起こる場合もあります。自己判断で使用、服薬しないようにしましょう。一般的に内服薬の有効期限は3年程度ですが、これは温度・湿度・光などの条件が整い、なおかつ未開封の状態の時です。いつ貰ったかわからない薬などは、処分することをお勧めします。

**お薬や介護についてわからないことや、気がかりなことがありますたら、
お気軽にお尋ねください。**

担当 みやこ薬局 本店

***** みやこ薬局 *****

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店・大宮店

<http://www.miyako-ph.co.jp>